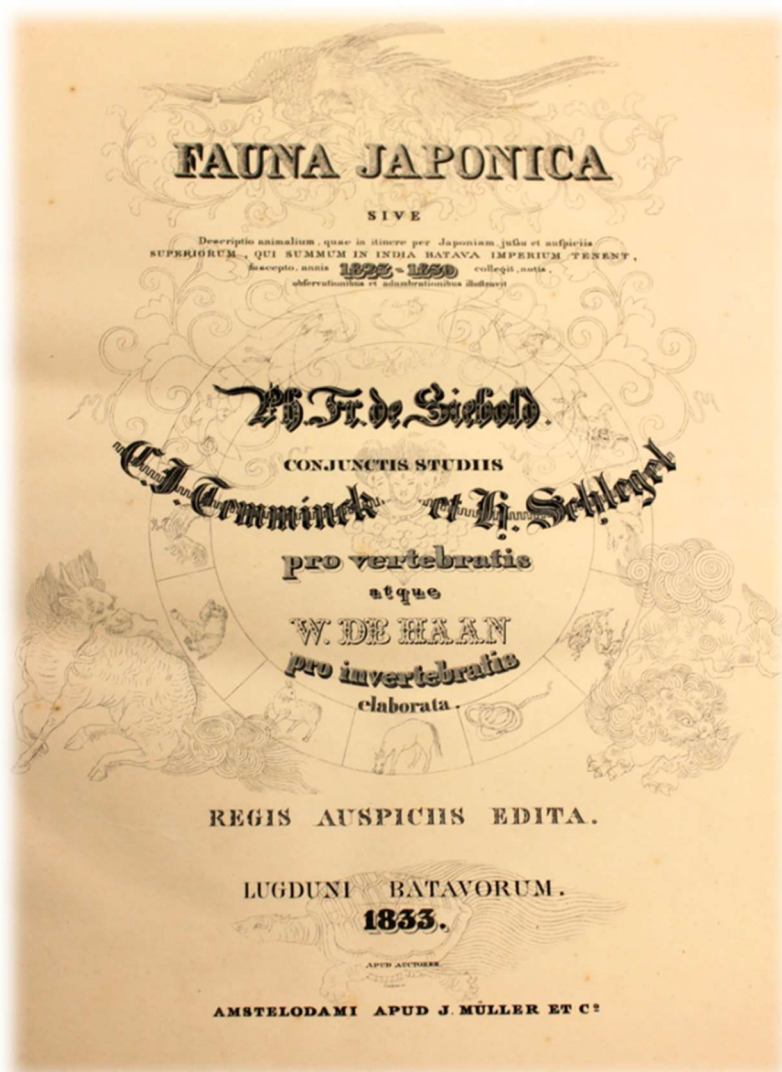




Since 1877

令和6年度
第1回
貴重資料展示

学習院大学図書館所蔵貴重資料 『Fauna Japonica(日本動物誌)』



学習院大学図書館

はじめに

学習院大学図書館所蔵資料『Fauna Japonica(日本動物誌)』

今回の展示資料『Fauna Japonica(日本動物誌)』は、日本の動物に関する最初の体系的な研究書で 1830 年代から 1850 年代（江戸時代後期）にオランダで刊行された動物図鑑です。これによって日本の動物相が世界に紹介されました。資料は刊行より 180 年から 190 年程度経過していますが、彩色が施された鳥類や哺乳類、魚類の精密な石版画は今でも目を見張る美しさです。貴重な資料をぜひご観覧ください。



2027 年 学習院は創立 150 周年を迎えます

○Philipp Franz Balthasar von Siebold (1796-1866)

□日本におけるシーボルト

シーボルトはドイツの医学者、博物学者です。バイエルンのビュルツブルクに生まれ大学で医学を学びました。1823年に長崎出島のオランダ商館医員に任ぜられ来日。その後、長崎郊外の鳴滝に学塾兼診療所である「鳴滝塾」を開き、日本人に対して医学などの講義や治療を行いました。鳴滝塾の門人達には研究テーマを与え、オランダ語の論文を提出させ、シーボルト自身の研究資料にしました。また門人等に協力を依頼して長崎近郊の動植物採集を行い、洋風画家の川原慶賀に図を描かせました。



□シーボルト事件

1828年シーボルトが任期を終えて帰国する際、蒐集した資料を積んだ乗船が暴風のため難破しました。修理のため積荷を一旦おろした際にシーボルトの荷物の中から国外へ持ち出すことを禁止されていた日本地図など多くの禁制品が含まれていることが発覚したため、日本人関係者の処分と共にシーボルト自身も一年間ほど出島に拘禁され取り調べを受け、1829年に国外追放と再来日禁止の処分を受けました。

□その後のシーボルト

1830年に帰国。オランダのライデンに居住し日本で蒐集した資料を整理して研究に専念しました。主著として日本についての総合的研究である『Nippon (日本)』、今回の展示資料『Fauna Japonica (日本動物誌)』、『Flora Japonica (日本植物誌)』、の三つのシリーズを出版し、日本及び日本の動植物をヨーロッパに紹介しました。1858年にシーボルト逐放令が撤去され、翌年日本に再来日したシーボルトですが、1862年にはオランダに帰着。晩年はドイツに戻り、1866年ミュンヘンで亡くなりました。70歳。



岩崎常正 寫『シイボルト肖像』,文政9 [1826] [写]. 国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2543107> (参照 2024-04-03)を加工して掲載

○ 『Fauna Japonica(日本動物誌)』

展示資料名：Fauna Japonica

出版者：Amstelodami : Lugduni Batavorum

出版年：1833-1850

言語：ラテン語, フランス語

形態：4 v. ; 38-40 cm

巻冊次：Crustacea (甲殻類)

Mammalia Reptilia (哺乳類 爬虫類)

Pisces (魚類)

Aves (鳥類)

『Fauna Japonica』は、シーボルト (Siebold) が日本において蒐集した膨大な数の動物標本や長崎の洋風画家である川原慶賀などの日本人絵師に描かせた下絵を基に、オランダのライデンにある国立自然史博物館の動物学者であるテミンク (C.J. Temminck)、シュレーゲル (H. Schlegel)、デ=ハーン (W. de Haan) によって研究・執筆されました (シーボルトは編集を担当)。

1833年から1850年にかけて分冊で刊行され、ラテン語で記述された甲殻類の部とフランス語で記述された脊椎動物の部で構成されています。ニホンオオカミ、ウグイス、マダイなどが美しい手彩色の図版で掲載されており、日本の動物を欧文で記載した最初の資料であり、本書によって日本の動物がヨーロッパに広く紹介されました。

学習院大学図書館所蔵の『Fauna Japonica』は、大正時代の初期に受入れました。甲殻類、爬虫類・哺乳類 (合冊)、魚類、鳥類の全4冊からなります。

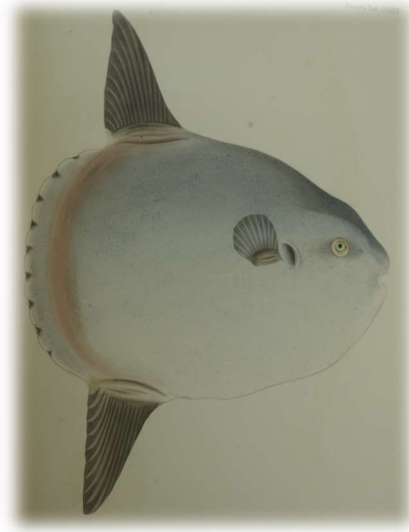
『Fauna Japonica』の構成

Crustacea	甲殻類	1833-1850	182種
Reptilia	爬虫類	1834-1838	27種(両生類含む)
Mammalia	哺乳類	1842-1844	63種
Pisces	魚類	1842-1850	330種
Aves	鳥類	1844-1850	201種

○ 『Fauna Japonica』 に掲載されている主な動物



和名：チョウゲンボウ（「鳥類」に掲載）
図版記載の学名：Falco tinnunculus japonicus
現在の学名：Falco tinnunculus



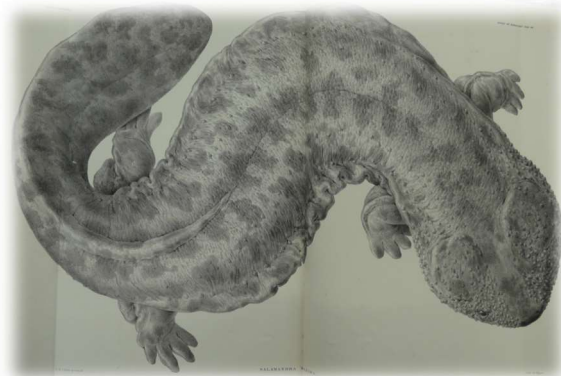
和名：マンボウ（「魚類」に掲載）
図版記載の学名：Orthogoriscus mola
現在の学名：Mola mola (Linnaeus)



和名：ニホンオオカミ（「哺乳類」に掲載）
図版記載の学名：Canis hodophilax
現在の学名：Canis lupus hodopylax Temminck & Schlegel



和名：キュウシュウモモンガ（「哺乳類」に掲載）
図版記載の学名：Pteromys momoga
現在の学名：Pteromys momonga momonga Temminck & Schlegel



和名：オオサンショウウオ（「爬虫類」に掲載）
図版記載の学名：Salamandra maxima／現在の学名：Andrias japonicus (Temminck)

おわりに

学習院大学デジタルライブラリーでは、本日展示した資料以外の貴重書をオンラインで閲覧できます。

■ 学習院大学デジタルライブラリー

<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



< 参考文献 >

○Philipp Franz Balthasar von Siebold (1796-1866)

- 1) “シーボルト Philipp Franz von Siebold”, 国史大辞典. Yoshikawa Kobunkan, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 2) “シーボルト Philipp Franz Balthasar von Siebold”, 日本大百科全書(ニッポニカ). SHOGAKUKAN, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 3) “シーボルト Philipp Franz Balthasar von Siebold”, 世界大百科事典. Heibonsha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 4) “シーボルト事件”, 国史大辞典. Yoshikawa Kobunkan, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 5) “シーボルト事件”, 日本大百科全書(ニッポニカ). SHOGAKUKAN, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 6) “シーボルト事件”, 世界大百科事典. Heibonsha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)

○『Fauna Japonica(日本動物誌)』

- 1) “日本動物誌”, 国史大辞典. Yoshikawa Kobunkan, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)
- 2) 宮崎克則. シーボルト『NIPPON』の色つき図版. 九州大学総合研究博物館研究報告. 2007, vol. 5, p. 1-56.
- 3) 塚原東吾. シーボルトは何をした人物なのか? : 近年の歴史研究の最前線から. 地理. 2016, vol. 61, no. 8, p. 4-14.
- 4) “川原慶賀”, 日本大百科全書(ニッポニカ). SHOGAKUKAN, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2024-03-28)

○『Fauna Japonica』に掲載されている主な動物

※動物の「和名・本文記載の学名・現在の学名」は以下のサイトで確認いたしました。

- 1) 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. “日本動物誌 Fauna Japonica 鳥類”. 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000005/explanation/01>, (参照 2024-04-03) .
- 2) 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. “日本動物誌 Fauna Japonica 魚類”. 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000002/explanation/01>, (参照 2024-04-03) .
- 3) 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. “日本動物誌 Fauna Japonica 哺乳類/爬虫類”. 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ. <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000003/explanation/01>, (参照 2024-04-03) .

「学習院大学図書館所蔵貴重資料『Fauna Japonica(日本動物誌)』」

発行日：令和6年4月3日

発行者：学習院大学図書館



2027年 学習院は創立150周年を迎えます